

「新指定・新登録・新選定」答申物件

《特別史跡の新指定》

【特別史跡】 1 件

1 ^{か そ り かいづか} 加曾利貝塚【千葉県千葉市】

縄文時代中期の貝塚を含む環状集落と後期の貝塚を含む馬蹄形集落から成る国内最大級の縄文時代の集落跡。考古学の研究史における重要性，埋蔵文化財保護の歴史，埋蔵文化財の整備と活用に関する先駆性，教科書等を通しての全国的な知名度等の様々な観点から，我が国文化の象徴として特に重要である。

（縄文時代中期の貝塚を含む環状集落と後期の貝塚を含む馬蹄形集落から成る国内最大級の縄文時代の集落跡）

《史跡名勝天然記念物の新指定》

【史跡】 11 件

1 ^{いり さわいせき} 入の沢遺跡【宮城県栗原市】

丘陵先端部という立地や大溝と材木堀に見られる高い防御性，当該期の大型古墳が副葬品として有するような各種遺物の存在からは，古墳時代前期後半におけるヤマト政権の東北政策を考える上で重要な大規模集落遺跡である。

（古墳時代前期後半におけるヤマト政権の東北政策を考える上で重要な大規模集落遺跡）

2 ^{かわらつかかまあと} 瓦塚窯跡【茨城県石岡市】

7世紀前葉から10世紀前葉に営まれた窯跡。南北130m，東西80mの範囲に35基もの窯が築かれた。古代常陸国における瓦生産の導入過程から，常陸国府・常陸国分寺の造瓦体制の確立及び終焉までを一遺跡で知ることができる点で重要である。

（常陸国府や常陸国分寺に瓦を供給した古代常陸国の中心的瓦窯）

3 ^{いづみさかした いせき} 泉坂下遺跡【茨城県常陸大宮市】

弥生時代中期前葉の再葬墓遺跡。再葬墓とは、遺骸を骨化させ壺に入れて土中に埋める弥生時代中期の北関東・南東北に特徴的な葬制。埋納土器には、人面付壺形土器も存在し、高さ77.7cmはこれまでで最大。遺跡の遺存状況は良好で、弥生時代の葬制の地域差を知る上で重要。弥生時代の再葬墓としては初の指定。

(人面付壺形土器としては最大の土器が出土した弥生時代中期の再葬墓遺跡)

4 ^{さんやかいづか} 山野貝塚【千葉県袖ヶ浦市】

東京湾東岸（房総半島西部）に位置する縄文時代後期から晩期の大型馬蹄形貝塚。この地域に集中する大型貝塚群の中で、現存する事例としては最南端に位置し、現在でも馬蹄形の貝塚の形状をそのまま見ることができる。出土した魚類遺体は、東京湾東岸の中央部に位置する地理的特徴をよく表している。

(東京湾東岸の大型貝塚群の中で最南端に位置する馬蹄形貝塚)

5 ^{りくぐんいたばし かやくせいぞうしよあと} 陸軍板橋火薬製造所跡【東京都板橋区】

明治9年（1876）に^{しやくじいがわ}石神井川沿いに造られ、終戦まで継続した陸軍の火薬工場跡及び火薬研究所跡。明治初期の官営工場の一つで、日本で初めて西洋科学を取り入れた火薬製作が行われたことで重要である。明治初期の試験射撃の的や昭和前期に建てられた爆薬理学試験室等が残る。

(明治9年（1876）に造られた官営工場で、陸軍の火薬工場跡及び火薬研究所跡)

6 ^{りかんじよあつ} 利神城跡【兵庫県佐用郡佐用町】

慶長5年（1600）、^{いけだてるまさ はりま}姫路城主となった池田輝政が播磨領内に設けた六支城の一つで、山頂の城を改修、西山麓には居館が整備された。現在、山頂部には江戸時代初期の石垣遺構が、山麓部には御殿跡が残る。近世初頭の播磨の政治・軍事を知る上で重要である。

(江戸時代初期、播磨国を領した池田輝政の支城の一つで、石垣造りの山城)

7 ^{みやこづか こふん} 都塚古墳【奈良県高市郡明日香村】

6世紀後半から7世紀初頭に飛鳥地域に造られた大型方墳。東西約41m、南北約42m、高さ4.5m以上で、類例のない階段状の^{ただんちく}多段築をなす。古墳時代から飛鳥時代への移行期の古墳の実態を知る上で重要である。

(6世紀後半から7世紀初頭に飛鳥地域に造られた、類例のない階段状の^{だんちく}段築を持つ大型方墳)

8 ^{やわたはまかいどうかさぎとうげごえ}八幡浜街道笠置峠越【愛媛県八幡浜市・西予市】

^{うわちやうのまち}西予市宇和町卯之町と八幡浜を繋ぐ八幡浜街道の一部で、宇和島藩の参勤交代の道として、また九州方面からの巡礼者と四国遍路を結ぶ道として利用された笠置峠を越える道。南麓の寺院に残る大般若経奥書から室町時代には笠置峠を介した南北の交流があったことが知られる。

(西予市宇和町卯之町と八幡浜を繋ぐ八幡浜街道のうち、笠置峠を越える道)

9 ^{ふくばるちやうじゃばるかんが いせき}福原長者原官衙遺跡【福岡県行橋市】

7世紀末から8世紀前半の古代の官衙遺跡。大規模な区画施設の中に大規模掘立柱建物が並び建つ。通常の地方官衙を上回る規模を有し、藤原宮の平面プランをモデルとした可能性のある格式高い行政施設と考えられ、その出現時期からみて古代律令国家成立期の地方統治の実態を知る上で重要である。

(律令国家成立期の地方統治の在り方を示す官衙施設)

10 ^{みくも いわらいせき}三雲・井原遺跡【福岡県糸島市】

『魏志倭人伝』に記載されている「伊都国」^{いとこく}の中心集落とされる弥生時代の大規模遺跡。居住域と墓域を合わせると60haに達すると考えられる。今回は、弥生時代前期の支石墓、甕棺墓と居住域を検出した地点、弥生時代中期の「王墓」とされる多量の中国鏡を出土した2基の甕棺墓を検出した地点、弥生時代後期の多量の^{らくろうけいどき}楽浪系土器などが出土した居住域を指定する。

(『魏志倭人伝』に記載されている「伊都国」の中心集落とされる遺跡群)

11 ^{ぐすくいせき}城久遺跡【鹿児島県大島郡喜界町】

古代日本国家との関わりの中で交易拠点として成立し、11世紀後半以降に形成される琉球、奄美地域の交易圏において中心的な役割を果たしたと考えられる遺跡で、考古学・文献史学の双方から南島社会の変遷を知ることができる稀有な遺跡である。

(古代末から中世にかけての琉球、奄美地域における交易拠点と考えられる遺跡)

【名勝】 6件

1 湯畑【群馬県吾妻郡草津町】

草津温泉の中心に位置する源泉地。湯樋を通じて温泉水を冷ますとともに、湯の花も採取され、端部において岩盤を流れ落ちる湯滝の風致は独特の風情を成しており、草津に固有の温泉文化を表象する風致景観として重要である。

(草津温泉の中心に位置する他に類例を見ない源泉地の風致景観)

2 江馬氏館跡庭園【岐阜県飛騨市】

15世紀末から16世紀初頭にかけて北飛騨地方の江馬氏の居館に築かれた庭園遺構。発掘調査の成果に基づき会所と塀に囲まれた空間に園池を中心とする庭園を復元整備したもので、中世における庭園文化の地方への伝播を示す重要な事例である。

(15世紀末から16世紀初頭にかけて北飛騨地方の江馬氏の居館に築かれた庭園)

3 櫻井氏庭園【島根県仁多郡奥出雲町】

江戸時代の松江藩鉄師頭取を務めた櫻井氏の住宅に18世紀以降に造られた庭園。松江藩七代藩主松平治郷の来駕の際に設えられたと伝わる岩盤斜面を流れ落ちる瀑布の意匠に顕著な特徴を有する。

(18世紀から19世紀初頭にかけて鉄師櫻井氏の邸宅に造営された庭園)

4 星ヶ森(横峰寺石鎚山遥拝所)【愛媛県西条市】

横峰寺境内地の南西端に位置する星ヶ森は、霊峰石鎚山を北側から南方に向かって遥拝する固有の展望地点として江戸時代以来の名所で、石積みを伴って形成された平場には鉄の鳥居や石龕などが設えられており、信仰に関連する優れた風致景観を觀賞する場として重要である。

(鉄の鳥居や石龕が配され、霊峰石鎚山を遥拝する固有の優れた展望地点)

5 天念寺耶馬及び無動寺耶馬【大分県豊後高田市】

国東半島の六郷山における修行の寺院であった中山本寺である天念寺と無動寺の背後にそびえる岩峰や岩屋、無明橋などで特徴づけられる優れた風致景観で、古代以来の回峰行を通じた密接な連続性を有するとともに、相互に眺望の対象となっている点で顕著な特徴を有する。

(岩峰や岩屋、無明橋などで特徴づけられる信仰に関連する優れた風致景観)

6 ^{うど}鵜戸【宮崎県日南市】

日南市の海岸及び山稜から構成される景勝地。日向神話の舞台として知られ、東側海岸部の隆起海食洞に鵜戸神宮本殿が建つ。また、南側の海岸部には「鬼の洗濯板」と呼ばれる鵜戸千^{うどせんじょうじき}畳敷奇岩が広がる。

(日向灘に面した断崖の海食洞に鵜戸神宮の本殿を配置するなど独特の海岸風景)

【天然記念物】 1件

1 ^{ことがはま}琴ヶ浜【島根県大田市】

島根県中央部のリアス海岸の湾奥に位置し、清浄な海浜の象徴でもある鳴き砂浜の典型として貴重。主に石英砂で構成されている鳴き砂は、波浪や海底地形の影響を受けて、湾内で繰り返し洗浄・円磨されており、広い範囲で良好に維持されている。

(島根県中央部のリアス海岸の湾奥に位置する日本有数の鳴き砂浜)

《登録記念物の新登録》

【遺跡関係】 3件

1 そ や すいどう 曾屋水道【神奈川県秦野市】

明治12年（1879）にコレラが発生し上水道への意識が高まる中で、明治23年（1890）に竣工した、全国でも極めて早い時代に建設された水道施設。昭和期に作り替えられた配水池、大正期のポンプ室、煉瓦造りの水源の開口部が残る。

（明治23年（1890）に竣工した、全国でも極めて早い時代に建設された水道施設）

2 なんかいじしんとくしまけんじしんつなみ ひ 南海地震徳島県地震津波碑【徳島県徳島市・小松島市・阿南市・那賀郡那賀町・海部郡美波町・牟岐町・海陽町】

徳島県の沿岸には慶長、宝永、嘉永（安政）、昭和の4度の地震津波の被害と教訓を後世に伝えるため建設された石碑が多数存在する。地震津波碑19基（3市4町）を登録することにより、後世に確実に伝え、減災社会実現の一助とする。

（南海地震の被害と教訓を伝える徳島県下の地震津波碑19基）

3 おきなわけんてつどう よ な ばる えきあと 沖縄県鉄道与那原駅跡【沖縄県島尻郡与那原町】

沖縄県鉄道は、大正時代から昭和20年（1945）の沖縄戦まで、沖縄本島中南部で営業していた、軌間762mmを採用した軽便鉄道である。与那原駅は那覇と与那原とを結ぶ与那原線の終着駅であった。我が国近代の沖縄の交通の歴史を理解する上で意義深い。

（大正時代から昭和20年（1945）の沖縄戦まで、沖縄本島中南部で営業していた鉄道の駅跡）

【名勝地関係】 2件

1 ^{うつのみやだいがくていえん}宇都宮大学庭園【栃木県宇都宮市】

宇都宮大学峰キャンパス構内に所在する、フランス式庭園に倣った整形形式庭園で、宇都宮高等農林学校の開校に際して初代校長の佐藤義長が構想、教職員が設計し、学生や地域の人々により大正15年（1926）までに作庭されたものであり、日本の近代造園史において意義深い事例である。

（宇都宮大学峰キャンパス構内に所在する大正15年（1926）作庭の整形形式庭園）

2 ^{こうだいいんしょいんていえん}光臺院書院庭園【和歌山県伊都郡高野町】

昭和時代を代表する作庭家である^{しげもり みれい}重森三玲の手による昭和38年（1963）の作庭で、8つの峯に囲まれた聖地としての高野山の在り方を参照し、中島を有する園池を中心に「^{れん}蓮華八葉」として表現した庭園であり、重森の作風の一端を知る上で意義深い事例である。

（重森三玲による昭和38年（1963）作庭で、「蓮華八葉」を表現した庭園）

《重要文化的景観の新選定》

【重要文化的景観】 7件

1 あそ ぶんかてきけいかん 阿蘇の文化的景観 あそ きたがいらんざんちゅうおうぶ そうげんけいかん 阿蘇北外輪山中央部の草原景観【熊本県阿蘇市】

阿蘇カルデラ北部に位置する阿蘇市には、阿蘇谷の平地及び中央火口丘北斜面、北外輪山及びその斜面が含まれる。歴史的に平地は居住地及び耕作地、斜面は林地、中央火口丘・外輪山上は草地として利用されてきた。阿蘇地方北外輪山の典型的な草地景観である。

(阿蘇カルデラ北部の外輪山上の採草・放牧に関する景観地)

2 あそ ぶんかてきけいかん 阿蘇の文化的景観 みなみおぐにまちせいぶ そうげんおよ しんりんけいかん 南小国町西部の草原及び森林景観【熊本県阿蘇郡南小国町】

阿蘇カルデラの北側に位置する小国郷は、小規模な起伏を繰り返しつつ北へ傾斜する緩斜面の小平野上に位置する。小国郷南部の南小国町では、古くから各集落が草地を維持しながら、小河川沿いの谷筋を林地及び耕作地として一体的に利用してきた。阿蘇地方の典型的な草地及び林地景観である。

(阿蘇カルデラの北側に位置する小国郷の南部に広がる採草・放牧及び森林の利用に関する景観地)

3 あそ ぶんかてきけいかん 阿蘇の文化的景観 わいたさんろく そうげんけいかん 涌蓋山麓の草原景観【熊本県阿蘇郡小国町】

阿蘇カルデラの北側に位置する小国郷は、小規模な起伏を繰り返しつつ北へ傾斜する緩斜面の小平野上に位置する。小国郷北部の小国町では、古くから草地を利用して小規模な畑地耕作を一体的に営み、林業も拡大させてきた。阿蘇地方の典型的な草地景観である。

(阿蘇カルデラの北側に位置する小国郷の北部に広がる採草・放牧に関する景観地)

4 あそ ぶんかてきけいかん 阿蘇の文化的景観 うぶやまむら のうそんけいかん 産山村の農村景観【熊本県阿蘇郡産山村】

阿蘇カルデラの外輪山と九重山麓が交わる産山村では、なみじょうこうげん波状高原と浸食された急傾斜の丘陵地域から成る地域に位置する丘陵が広がり水源地が多数ある。斜面地の多くは草地又は林地として利用されてきた。阿蘇地方独特の農村景観である。

(阿蘇カルデラの外輪山と九重山麓が交わる丘陵地域に広がる棚田及び採草・放牧、森林の利用に関する景観地)

5 あそ ぶんかてきけいかん 阿蘇の文化的景観 ね こだけなんろく そうげんけいかん 根子岳南麓の草原景観【熊本県阿蘇郡高森町】

阿蘇カルデラ南部の南郷谷なんごうだにの東部では、外輪山側は急斜面が多いため小規模な草地が多い一方、中央火口丘側は比較的緩やかな斜面を有するため広い草地が営まれてきた。阿蘇地方根子岳南麓の典型的な草地景観である。

(阿蘇カルデラ南部の南郷谷東部に広がる採草・放牧に関する景観地)

6 あそ ぶんかてきけいかん 阿蘇の文化的景観 あそ さんなんせいぶ そうげんおよ しんりんけいかん 阿蘇山南西部の草原及び森林景観【熊本県阿蘇郡南阿蘇村】

阿蘇カルデラ南部の南郷谷なんごうだには、湧水が豊富な一方、火山性の地質のため土地が痩せており、土地を耕作地として利用するには、施肥に必要な草地及び放牧地との一体的利用が不可欠であった。阿蘇地方南阿蘇村北部の典型的な草地景観である。

(阿蘇カルデラ南部の南郷谷北部に広がる採草・放牧及び森林の利用に関する景観地)

7 あそ ぶんかてきけいかん 阿蘇の文化的景観 あそ がいりんざんせいぶ そうげんけいかん 阿蘇外輪山西部の草原景観【熊本県阿蘇郡西原村】

阿蘇カルデラの外輪山の稜線より外側（西側）に位置する地域では、俵山地区たわらやまをはじめとして外輪山の草地を利用しながら林業及び農業が一体的に営まれてきた。熊本市街地に隣接することから開拓及び商品作物生産等の影響がみられる。阿蘇地方外輪山の典型的な草地景観である。

(阿蘇カルデラの外輪山の稜線より外側（西側）に位置する採草・放牧に関する景観地)